

# 入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校  
校長 樋口 佳洋  
平成 29年 4月 20日  
第 2 号

## おいしい給食をいただきます！

4月10日から平常授業が始まり、給食も始まりました。10日は1年生にとっては小学校での初めての給食です。入鹿小学校では全員がランチルームに集まり給食を食べます。この日のメニューはチキンライス、キャベツスープ、ヨーグルトそして牛乳。当番の子が配膳してくれた食器を持って自分の場所へ行きます。そして準備がととのったら「いただきます」。給食調理員の門さんが作ってくれた給食はとてもおいしく、残す人など誰ひとりいません。1年生も思った以上に早くぺろりと食べ終え、満足そうでした。入鹿小学校の給食を気に入ってくれたかな？



## 第1回の土曜授業

4月15日は今年度第1回の土曜授業でした。1年生にとっては授業最初の週でいきなりの土曜授業で、疲れていないかと少し心配しましたが、元気に授業を受けていました。さすがに若いですね（笑）。下校会で様子を聞くと、少し疲れたと言っている子もいましたが・・・。

入鹿小学校では今年度も7月と12月を除く第3土曜日に実施する予定です。なお、土曜授業の際は基本的に学校公開としておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

## 4月・5月の予定

- ・ 4月28日（金） 社会見学（熊野市消防本部、山崎運動公園）
- ・ 5月 8日（月） 家庭訪問開始（5限授業）
- ・ 9日（火） 社会見学予備日（4月28日が雨天の場合）
- ・ 11日（木） 街頭指導
- ・ 20日（土） 土曜授業
- ・ 21日（日） 丸山千枚田 田植え ・ 22日（月） 代休
- ・ 25日（木）・26日（金） 宿泊体験学習（5・6年生：熊野少年自然の家）

裏面もご覧ください

# マナウスよもやま話 ①

## マナウスってどこ？

「マナウス」と聞いて、場所が分かる方は、よほどの地理好きか、サッカー好きにちがいないでしょう。マナウスがあるのは、右図矢印のように南米のブラジル連邦共和国、アマゾン川の河口から 1,500km ほどさかのぼった、アマゾンのジャングルの真ん中にあります。サッカーのワールドカップブラジル大会や、リオデジャネイロオリンピックで試合が行われました。オリンピックでは日本代表が最初に試合を行った場所です（相手のコロンビアがアメリカから来るのが遅れて、大騒ぎになった試合です）。ジャングルの真ん中、しかもほぼ赤道直下



（南緯3度）ですから年中暑く、一年中半袖、短パンで過ごせます。

日本人学校というのは、親の海外赴任といっしょに引っ越しをして行った日本人の小中学生のために、日本国内の小中学校と同じ教育を行う機関で、教員は文部科学省から派遣されます。でも、どうしてそのようなジャングルの真ん中に日本人学校があるのでしょ。実はマナウスというのはかつて天然ゴムの輸出でとても繁栄した街で、今は人口が200万人ほどです。そこには「本田技研」のバイク工場があったり、「パナソニック」の工場があったりと、工業が盛んな街です。つまり、たとえジャングルに囲まれた街でも、そこに日本人の子どもがいるから、日本人学校があるわけです。

街から少し下流にはアマゾンの観光名所のひとつ「合流点」があります。アマゾン本流（ソリモンエス川）とネグロ川が合流するのですが、この2つの川の水は色がまったくちがうのです。ソリモンエス川は茶色（コーヒー牛乳の色）で、ネグロ川は黒（濃く入れたウーロン茶の色）で、温度や比重がちがうことから、合流した後しばらくは水が混ざり合うことなく、2色の川の水が並行して流れていくのです。

河口から 1,500km もさかのぼっているのに、川幅は広いところで 10km もあります。対岸はうっすらとしか見えない所もあり、まるで海のようなです。しかも標高はわずか 92m。ちなみに紀和庁舎の標高は 56m、瀨大橋は河口から 45km だそうなので、その流れがいかにかゆったりしているかわかっていただけるでしょうか。思わず ♪ あ〜あ〜川の流れのように・・・♪ と歌いたくなってきましたよ。